

たいと思っています。ちょうど五年後には、ダンスもよさこいも卒業の年です。最後まで諦めないで、しっかり卒業できていますか。

そして、私の夢は何ですか。何に向かって頑張っていますか。今の私の夢は、幼稚園の先生になることと、札幌のダンススクールに通うことです。もしかしたら、夢が変わっているかもしれませんが。でも、五年後の私がどんな夢を目指していたとしても、一生懸命に頑張って、その夢をかなえてほしいと思います。

最後に、五年後、私はもしかしたら登別市を離れることになっているかもしれませんが。でも、すぐに帰ってきたくなるような、いつまでも温かい登別市であってほしいなと思います。



登別中学校
二年A組
くさ かい けん ごと
草 替 健 吾さん

「大きな壁も 乗り越えていこう」

「あ、楽しかった」

僕は、高校生活三年間を振り返っていた。

やっぱり、楽しい事ばかりだ。苦しい出も一つや二つはある。でも、そんな事は楽しかった思い出が吹き飛ばしてくれる。今年で高校は卒業だ。これからは、もっと楽しい事もあるし、もっと悲しい事・大きな壁がでてくるだろう。しかし、そんな事も乗り越えていこう。そう決めたんだから。

今、僕は、室蘭栄高校にて、将来の夢である理学療法士になるために、

猛勉強しているところだ。しかし、本当に、専門学校に入学することはできるのだろうか。理学療法士になることはできるのだろうか。そんな思いに押し潰されそうになる時がある。しかし、そんな時は毎回、家族や友達に励ましてくれる。やっぱり、友は大事だと実感する。それと共に、自分では何もできないと感じるものだ。

大事なものは友だと感じているからだろうか。今、一番楽しい事は、友と喋ることなのだ。こういう環境は他の人から見ても和んでくると思う。人と人の関係はやっぱりすごいものだ。

絶対に、この夢は、みんなの期待に応えるためにも、かなえてみせよう。

登別の事は、どう思っているのだろうか。あんまり、考えた事が無かったから、こういう事を考えるのは、新鮮なものだ。自分が中学二年生の頃は、この登別について、あまり良いイメージはなかった。思春期だったからという面もあるだろう。

しかし、今はどうだろうか。登別で良かったと思っている自分がいる。この登別で、十八年間も過ごしてきたのだ。それくらいの気持ちが出てくるのは、当然だと思う。その感謝の気持ちを伝えるためにも、ボランティアなどには積極的に参加していると思う。これからは登別市が、今の活気あふれている雰囲気を保ち続けながら発展していくことを願っている。

この作文を書いている頃、僕は中学二年生です。五年後の自分を考えながら作文を書くのは、初めてなので難しかったです。さて、今の僕の人生はどうなっているのでしょうか。作文のようになっていたら、驚いていることでしょうか。

人生はこれからです。何事にも挫けずに、大きな壁がでてきても乗り越えてください。これからも、頑張っていきたいと思います。